

# 授業改善推進プラン【総合的な学習の時間】

谷戸第二小学校

## 1 日常の学習における課題分析

平成22年度の年間指導計画は以下のものであるが、その取組み方について課題を分析した。

### <谷戸二小の年間指導計画>

	Ⅰ学期	Ⅱ学期	Ⅲ学期
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校や公園の生き物を見つけよう (せせらぎ公園・憩いの森・東大農場) <b>地域・環境</b></li> <li>かいこを育てよう <b>環境</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国の人と仲良くなるよう <b>国際理解</b></li> <li>こむぎを育てよう <b>環境</b></li> <li>チャボを育てよう <b>命</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>昔遊びの達人になろう <b>伝統文化</b></li> <li>元気大作戦 <b>健康・自分</b></li> </ul>
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコライフ研究所 (緑のカーテンを作ろう) <b>環境</b></li> <li>外国の人と仲良くなるよう① <b>国際理解</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国の人と仲良くなるよう② <b>国際理解</b></li> <li>伝えよう 共に生きよう① (お年寄りの方と仲良くしよう) <b>福祉</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ぼくの私の2分の1成人式 <b>健康・自分</b></li> </ul>
5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>お米大作戦 (パソコンを使って調べたりまとめたりする) <b>健康・自分</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全で安心してくらせる町 <b>地域・環境</b></li> <li>感動を伝えよう <b>自分・表現</b></li> <li>市民まつりに参加しよう <b>地域・自分</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>わたしたちの生活と周りの環境 (CO2削減に取り組もう) <b>環境</b></li> </ul>
6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>わたしたちの町の環境を 考えよう (せせらぎ公園・憩いの森・東大農場) <b>地域・環境</b></li> <li>菅平の魅力を探ろう! <b>環境等</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去、現在の自分、これからの自分(キャリア教育) <b>健康・自分</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の国々を知ろう <b>国際理解</b></li> <li>卒業プロジェクト <b>健康・自分</b></li> </ul>

### <関心・意欲・態度>

- 共通体験を楽しみにし、意欲的に取り組む児童が多い。自ら進んで課題解決していこうとする児童はあまり多くない。

### <課題設定、課題追究の力>

- 体験を好む児童が多いが、自分なりに課題をもつことが苦手な児童も多い。また、自分で計画を立て、見通しをもって追究していくことも苦手な児童もいる。
- 発展的・横断的な学習については各学年取り組んでいるが、それが探究的な学習にむすびついていないことも多い。

### <表現する力>

- 新聞にまとめたり、パソコンを使って発表したりと多様な表現方法を知っているが、他者に発表する力としては、個人差が大きい。また、学年が上がるほど、その個人差が広がっている傾向がある。

### <共に生きる力>

- 友達と協力して活動を進めることができるようになってきている。高学年では、自己評価や相互評価を効果的に取り入れ、評価する力も少しずつ身に付いてきた。
- 各学年の系統性を考えた年間指導計画の見直しや、特別活動とのかかわりを明確にした単元の作成を行う必要がある。

## 2 授業改善の方策

- 年間指導計画の見直しや、探究的な学習を核として単元の構成や進め方を工夫する。
  - ・ テーマ設定への支援
    - 中学年では課題を選択させたり、高学年では繰り返しの体験を重視したりして課題が作れるようにする。
  - ・ 多様な体験活動の工夫と支援
    - 共通体験や児童が考えた具体的な体験活動を重視し、意欲的に活動できるようにする。
  - ・ 情報の収集や分析についての段階的指導と支援(各教科との関連付け)
    - 書物による調べ学習、現地での実地調査、インタビュー、インターネットの活用、実験などを使って、情報を収集し、それを分析するなどの思考力を育てる。
- ◎ 言語活動の充実(発表の仕方(情報発信)の工夫と支援)
  - 互いに発表し合う等の交流を通して目的意識、相手意識をしっかりとめ、情報発信の技能を具体的に支援するなどし、聞き手に分かりやすい情報発信ができるようにする。